

プロセス		アウトプット	初期アウトカム	中間アウトカム	最終アウトカム
目指す姿					基本目標：健康寿命延伸 ➡ 要介護者の抑制 + QOL向上 ～状態像～ 高齢者が地域でいつまでも幸福感をもって暮らしている 【個人】 ①自分で選択して生活している、それぞれが大切にしていることを続けられる、得意なこと活かして活躍し、役割をもって生活している＝充実感を持っている ②安心して暮らしている＝孤独や不安を感じていない 【地域】 支え合いのある地域 ①人とつながりを持つことのできる地域＝自分の居場所がある、見守りのある地域 ②高齢者が活躍できる地域＝役割が期待されている地域 ③高齢者が生きがいを持っている地域＝選択肢が多い地域
	ストラクチャー				
	事業を適切に実施するための体制、仕組みを構築している		・身体機能の維持向上ため、週1日以上運動している人を増やす 指標：運動頻度「週1日以上」の割合 ・口腔機能の維持向上のため、… 指標： ・閉じこもりによる心身機能の低下を防止するため、週2回以上外出する人を増やす 指標：外出頻度「週1回以下」の割合 ・低栄養による体力低下を防止するため、食品摂取多様性得点が7点以上の高齢者を増やす 指標：食品摂取多様性得点が7点以上の割合 ・精神的健康の維持向上のため、社会参加（就労・ボランティア・通いの場など地域活動へ参加）している高齢者を増やす 指標：いずれかの社会活動に「月1回以上」参加の割合/社会参加率 ・精神的健康の維持向上のため、生きがいのある高齢者（知的能動性リスクの低下）を増やす 指標：生きがいの有の割合/知的能動性リスクが0～2点の割合 ・身近に相談できる人が増えるよう（人とのつながりが増えるよう）社会参加している高齢者を増やす 指標：いずれかの社会活動に「月1回以上」参加の割合/社会参加率（再掲） ・身近に相談できる人が増えるよう困った時の相談先を知っている高齢者の割合を増やす 指標：困った時の相談先を知っている高齢者の割合 ・心配事を相談できる人、家族友人意外で相談できる人を増やす（人とのつながりを増やす）ためにいつでも行きたいときに行ける場がある高齢者を増やす 指標：いつでも行きたいときに行ける場がある人の割合 ・「友人、近所の人、別居の家族や親戚との対面、額面での接触頻度が週1回未満」の高齢者を減らすため、いつでも行きたいときに行ける場がある高齢者を増やす 指標：いつでも行きたいときに行ける場がある人の割合（再掲） ・健康状態の維持向上とフレイルリスクを低下させるため通いの場に継続的に参加している高齢者を増やす 指標：つながり続けたい場所がある高齢者の割合 ・精神的健康の維持向上のため、役割を期待されていると感じる人を増やす 指標：「役割を期待されていると思う」の割合 ・高齢者の自立支援の視点から、高齢者の希望に基づく多様な選択の支援を行う 指標：従前サービスが位置付けられたプランの割合	【個人】 ・幸福感の向上と要介護認定率を一定の水準に保つため、高齢者の健康状態（基本チェックリスト項目：身体・口腔・栄養・精神・認知機能・閉じこもり）の維持向上とフレイルリスクを低下させる 指標：基本チェックリスト「運動器の機能」5項目中3項目以上該当の割合/基本チェックリスト「口腔機能」3項目中2項目以上該当の割合/抑うつ（ニース調査2項目中1項目以上該当の割合）の割合/基本チェックリスト「認知機能」3項目中1項目以上該当の割合/基本チェックリスト（抑うつを除く20項目）の合計得点が6点以上の割合 ・孤独や不安を感じていない高齢者を増やすため、心配事を相談できる人、家族友人意外で相談できる人を増やす（人とのつながりを増やす） 指標：心配事や愚痴を聞いてくれる、聞いてあげる相手先の数/家族や友人・知人以外で相談する相手がいないと回答した人の割合 ・孤独や不安を感じていない高齢者を増やすため、「友人、近所の人、別居の家族や親戚との対面、額面での接触頻度が週1回未満」の高齢者を減らす 指標：友人、近所の人、別居の家族や親戚との対面、額面での接触頻度が「週1回未満の割合」 ・支え合いのある地域を作るために、「近隣の人は信頼できと思う」「多くの場合、近隣の人は他人の役に立とうと思う」と考える人を増やす 指標：「近隣の人は信頼できと思う」「多くの場合、近隣の人は他人の役に立とうと思う」の割合 ・自分の居場所があり、緩やかな見守りのある地域を作るため、「友人、近所の人、別居の家族や親戚との対面、額面での接触頻度が週1回未満」の高齢者を減らす 指標：友人、近所の人、別居の家族や親戚との対面、額面での接触頻度が「週1回未満の割合」（再掲）	【個人】 ・要介護認定率を一定の水準に保つ 指標：新規要支援・要介護認定率（新規認定者割合＝新規認定者数÷高齢者数）/初回認定者の平均年齢 ・充実感（幸福感）を持っている高齢者を増やす 指標：主観的幸福感（0～10点中、7点以上の割合） ・孤独や不安を感じていない高齢者を増やす 指標：孤独や不安を感じている高齢者の割合 【地域】 ・支え合いのある地域をつくる ・自分の居場所があり、緩やかな見守りのある地域をつくる 指標：地域へ貢献していると考えている高齢者の割合 参考指標：健康寿命
	アクティビティ				
	地域の実情を踏まえた事業の実施 アウトカムを踏まえた事業の実施	各事業の実施回数・参加人数・通いの場の数など			
	インプット				
	高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画で設定した地域支援事業費の範囲内である ・事業の効率性が保たれている ・事業を実施するための人材が確保できている（高齢者の活躍の機会創出の視点をもっている）				

資料 9 - ②

①通いの場PDCAサイクル
手引き(健康長寿医療セン
ター)
②地域支援事業実施要綱
③保険者機能強化・努力支援
交付金指標
なし…独自

[illegible]